

子供の生活の觀方

養育研究所敎養部長 山下俊郎

一

保育という營みは幼児の生活をまもり育て、行く事である。いまよく間違えて考えられ、また實際に行われて來たことも少くないような、子供の生活におかまいなしに、押つけ式に色々教え込むようなやり方は、決して正しい保育の姿ではない。幼稚園令に保育項目というものが定められていたので、昔の學校の諸學科のようにこれを考えて、唱歌を教え、遊戯を教え、手技を教えるという事が、幼児保育のすべてであり、そしてこれで終りであるというような考え方がないでもなかつたと思う。勿論、口先きでは、保育項目が保育のすべてではないと言っている。然し、實際に見ると、必ずしもそうではない向きが多い。保育講習などでも保育項目に關する講習だと参加者が非常に多い。然し多少理論的な事柄になると始めから敬遠してしまふ傾向が見られる。また幼稚園を參觀して見ると、遊戯やお唱歌は大變上手に仕込まれているが、便所へ行つて見るとまるでお話にならない程汚なかつたり、幼児の爲にしたと思われる何の工夫も見られな

つたりする、というような事實は、少くともいままでの保育者の考え方の在り方が、保育項目偏重主義に陥つていたという事のまぎれもない證據ではあるまいか。勿論保育項目に採り入れられているものは、少くとも基本になる考え方の上では、幼児の生活の實際にあらわれているものに根據を持つてゐる。だから保育項目そのものが全面的に否定されなければならぬというのではない。保育項目は何處までも保育の一つの面として考えられなければならない。けれども、それは何處までも一つの面に過ぎないという事も亦忘れられてはならないのである。

保育項目の事はこゝでいま一つの引合ひに出したまでの事に過ぎないので、私の言いたい事は、保育という營みは、何處までも幼児の生活全體に亘つて、生活を保育するという事ではなければならないという事である。

新しく發足しようとしている小學校の敎育では、社會科という名のもとに、特に低學年に於ては生活指導という事が重視されるといふ事である。そしてそのみでなく、總ての學科が、子供の實際生活に直接に結びつけられて、いままでと

は違つた意味で學習されるようになるという事である。小学校に於てさえそうであるから、幼児の保育に於てはなおさら生活という事が重視されなければならないと思う。

このように考へて來ると、幼児保育に於て重視されなければならない生活の保育に就いて、この幼児の生活そのものを如何に見るか、どのように掴むかという事が第一に決定的重要性を持つものになつて來ると思う。保育の在り方は幼児の生活を如何に見るかという事によつて、定まつて來るからである。

二

幼児の生活の觀方には色々の觀方があり得る。

子供には子供らしい、子供の生活があるという。いわば子供らしさを子供らしきとしてそのまゝに受け入れ、そのまゝに嘆美するという態度が先ず一つの觀方として擧げられなければならない。子供は子供らしい物の觀方を持つてゐる。無生物も自分と同じように生きてゐると思う。お月様は自分と同じに歩いてゐる、というのは子供の觀方である。數日前、私の近所の家にお産があつた。この家に六つの男の子がゐる。お産があつてからこの子に會つたとき「赤ちやん生れたでしょう」と聞くと、「うん、赤ちやんね、たらいの中に入つたんだよ」と言つてゐた。子供らしい、非常に率直な實感のこもつた觀方である。子供はこのように物を觀る爲、往々にして私ども大人の氣づかない事柄を強く印象づけられる。こ

の事は、往々にして大人を讚嘆させる。或る人は童心の純粹さに心打たれる。物を率直に直觀的に受けとる爲、子供の心の動きには、美しい詩があると云う。最も自然に率直にまわりの世界を、純粹な心で、最も純粹に受けとるといふ意味から言えば、子供は確かに優れた詩人である。このような事から、大人は子供に學ぶべきであつて、子供を教へたり導いたりするものではない。子供こそ最も優れた天使であるという考え方の人が世の中には少くないようである。

然し、これは少くとも子供の生活の一つの面であるという事を私共は忘れてはならないと思ふのである。いままで可なり多かつたいわゆる童心嘆美論者は、子供の心の一つの面を見て、他の總ての面まで律しようとする偏つたものゝ觀方に陥つてゐるといふ事を私はこゝに指摘したいと思ふ。殊に、幼児の生活には、最も子供らしい生活がそつくりそのまゝに現われる。幼児は天使であるといふ觀方、考へ方には、確かに一面の正しいものがある。けれども、これが總てであるといふ考へ方は、少くとも幼児の生活を正しく導くといふ、保育基礎としての子供の生活の正しい觀方としては、決して充分ではないといふ事を私共は考へなければならぬと思ふのである。幼児保育者の中には、殊にこの童心讚美論者が少くないのでこの點を警戒しなければならぬと思ふ。

三

さま右に述べた童心讚美論の立つ子供の生活の觀方は、い

わは藝術的兒童觀とでも名づけていゝものと思ふのであるが、このような觀方は正しいものではあつても、何處までも一面的にのみ認めらるべきものであつて、全面的にこれのみで貫いて行くべきものではないことは既に右に述べた通りである。これが全面的に貫き通さるべきものではない事には、言うまでもなく根據がある。それは第一には童心讚美論は、何處までも童心をそのまま受取るという靜的な、極端に言へば鑑賞的な態度が根本になつてしまつて、育てらるべきものが子供の生活である事をとかく忘れ勝ちになり易いからである。子供の生活は何處までも、私共大人殊に保育の立場に在る者によつて育てられなければならぬものだからである。

讚美する態度は讚美するものを渴仰の對象としてたゞそのまゝに受け容れの態度である。この事から藝術的兒童觀の陥り易い誤り、態度を誤つたものとして判断しなければならぬ第二の根據が生れて來る。それは讚美するものは、子供を子供として、たゞそれのみを切り離して考へるといふのは、極端な分離した孤立的な觀方を採り易いからである。今は、正しい、新しい子供の觀方は常に子供を孤立したものとして、たゞなく、まわりの社會との關係において觀るといふ態度を採る。童心讚美論的、藝術的な子供の觀方は子供だけを考へ、子供とまわりの關係、子供をまわりの社會との關係に於て考へるといふ事をしない。然し、子供は、既に述べた様に、私共が育てるものであり、育てるものは子供のまわりに在る社會である。今日の環境に於て、私共は、新しい保育の在り方

としてこの子供とまわりとの關係を根柢に置いた在り方が最も正しいものと考へる。この意味に於て、子供を孤立的に考へ易い藝術的兒童觀は決して全面的に正しい觀方とはいへないのである。

こゝに述べた二つの根據は結局する所、一つの根據にまめてしまつてもいゝものであるが、要は藝術的兒童觀は一面に正しさを持つてはいるが、それは何處までも一面であつて、これを全體へ貫き通そうとすると今述べたような誤謬に陥る事になるのである。

四

既に述べたように、保育の在り方は子供の生活の觀方によつて定まつて來る。右に論じて來たように藝術的な子供の觀方が少くとも偏り過ぎたものであるとするならば、私共は正しい子供の生活の觀方とはどういふものであるかをしっかりと掴んで、正しい保育の在り方の據りどころを得なければならぬ。

では正しい子供の生活の觀方はどういふものであらうか。それは一言にして言へば、科學的な觀方であるといつてよい。すべて教育的な營みは、何よりも先ずその教育の對象を正確に掴んで、その掴んだ所を基礎にして行われなければならぬ。正確な掴み方とは、科學的基礎に立つて、ものを理解する仕方をいふのである。教育の仕事に於ける科學的といふ事は、このような理解をもとにして、正しい教育の方法を

打ち樹てる事である。この意味に於て、科學的な子供の生活は、觀方の正しい保育の基礎となるべきものである。實はさきに、私共が藝術的子供の觀方が、子供をまわりとの關係に於て觀るといふ事を忘れてゐる事を指摘したのも、新しい兒童心理學の研究の結果からをもとにしてくだした所の科學的批判なのである。私共は、何處までも科學的基礎の上にたなければならぬ。

子供の身體的生活に對しては新しい醫學の基礎に立脚して、精神的生活に對しては新しい兒童心理學に立脚して、そしてこれ等を綜合して新しい兒童學の基礎に立つて正しい子供の生活の觀方が組織されなければならない。この科學的兒童觀が、これからの保育の在り方を決定するものである。

私は、いままでの我が國の幼兒保育に見られる最も大きい缺陷は徒らなる藝術的兒童觀のみが多くして、科學性に缺けていた點に在ると思ふ。現在、我が國で行われつゝある教育制度の改革に於て、最も重んぜられてゐるものは教育の科學的基礎であり、教育心理學的基礎が最も重要視されてゐるのはその一つの最も著しい現われである。今は、私共は幼兒保育の世界に於てもまた、科學的基礎が最も強く要求せられるものであり、これが滿されたとき始めて、文化國家再建の一翼としての幼兒保育の前進が約束されるものと考へるのである。

○東京都保育連合會成る

◇同じ年齢の同じ日本の兒童であり乍ら一方は家庭が富裕であるが故に、教育的施設としての幼稚園に入園し、一方は家庭が貧困であるからと社會事業の對象たる託児所に收容すると云ふことの面白からざることに對しては保育關係者のひとしく不合理性を感じその合同を叫んで來たのであるが残念乍ら今日まで、文部省と厚生省の所管から離れることが出来なかつたのである。

◇東京都内の私立幼稚園協會と、都立幼稚園の團體東京都保育會の幹部懇談會が二十一年秋に開かれた席上、「東京都内の全保育の交流を計り、親睦提携をしようではないか」との議がもち上り、國立幼稚園會(女高師幼稚園、第一師範幼稚園)東京都保育研究會(都立保育園)東京都厚生事業協會保育部會(私立保育園)の三團體幹部と數回寄り合い相談を進めた。

◇六月十一日午後一時半より丸の内交通協會講堂に於て「東京都保育連合會」の創立總會が開かれた。

◇會する者園長保母八百名講堂に溢れ、椅子もなく、多數の方に立つていたといふのは誠にお氣の毒であつた。

◇雨のために少し遅れて開會、小野重内氏司會の下に三谷此治氏座長となり、現後承認、役員選舉をする、せん考委員によつて二十名の理事選出、直ちに理事會を開いて、内山登尙氏を理事長に選出する。

◇内山理事長の挨拶に次で、全國保育大會開催の件について協議し委員一任を以て可決。委員は理事會にその入選を一任。

◇司令部教育部初等教育係のフエファアナン女史の來場あり、保育に對しての懇切なお話と、質素應答があつた。

◇文部省、東京都教育局長、同厚生局長の祝辭があつて、第二部として、倉橋惣三先生の「保育の連合會」の講演を承る。

◇第三部余興として各團體から合唱、舞踊、劇等あり、盛會裡に四時半終了した。(連合保育會より)